

## デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

### デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、お客様のお役に立てる建設会社として事業を成長発展させるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

### 経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くご利用頂ける建設会社を目指します。

### 経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

作業の依頼が増えている個人のお客様向けに、塗装工事や防水工事の before→after の写真の保存や、劣化状況の診断内容などを保存して共有できるシステムを導入します。

これにより、お見積書の即時発行や、作業完了報告書の提出を現場で即時行うことができるようになるので、お客様の利便性や当社の作業効率が飛躍的に向上します。

作業効率が高まることにより、お客様には短納期低価格でサービス提供が行え、当社は生産性の向上により適切な利益を獲得することができる体制が整います。

### 戦略を効果的に進めるための体制

代表取締役 日比野 淳が CIO (最高情報責任者) と CISO (最高セキュリティ責任者) を兼務し、日比野をリーダーとした情報システム部門 (プロジェクトチーム) を発足します。プロジェクトチームには、システム開発会社のシステムエンジニアを社外メンバーとして迎え入れ、効果的なシステムの運用について議論するプロジェクト会議を定期的に行います。

また、プロジェクトメンバーには IT コーディネーターと、IT パスポートの資格取得を奨励し、受験費用の一部を会社負担すると共に資格取得者には手当を支給するなどして、積極的に IT 人材の育成に努めます。これにより、1 年以内に IT コーディネーター有資格者 1 名以上と IT パスポート資格者 1 名以上を情報システム部員に所属させます。社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。